

# 津和野町版架け橋カリキュラム

## 期待する子ども像 好奇心から始まり、対話と協働を通して自己実現がはかれる子

項目	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	フェーズ4	フェーズ5	フェーズ6
プレイフルラーニング (好奇心)	新しい集団生活でも興味、関心を持って自ら環境に関わる。	友だちや保育者の姿を見て、興味関心の幅を広げていく。	自分の興味、関心を他者に知らせ、その面白さを共有しようとする。	新しい環境で生活をする中で、日々の学習や活動に興味をもっている。	探究心をもって予想したり、試したりして、主体的に問題を解決しようとする。	自らの経験則から考えたり判断したりする中で、新たな発見をしたり、もっと楽しくなる考え方に気づいたりして「知る」「関わる」「感じる」ことを面白がる。
トライ&エラー (思考力の芽生え)	新たな生活の中で自ら環境に関わりながら、自分なりに試行錯誤をしようとする。	友だちや保育者から刺激を受け、自らの経験と織り交ぜながら、自分なりの考えを生み出そうとする。	自分なりの仮説を立て、友だちと協力しながら自分たちの思いを叶えようとする。	できること・できそうなこと・やってみたいことにトライ&エラーをしながら新たな生活環境の中で楽しさをみつける。	できること・できそうなこと・やってみたいことにトライ&エラーをしながら新たな生活の楽しさをみつける。 ※多様なモノ(道具・自然物・生き物など)の性質や仕組みについて考え、よりよい考えを生み出す。	できること・できそうなこと・やってみたいことにトライ&エラーをしながら新たな生活の楽しさをみつける。 ※自ら判断したり、みんなで考え直したりと試行錯誤して、よりよい解決方法を試しながら、その面白さを表現する。
リフレクション (振り返り)	新たな集団生活になっても、試行錯誤の過程を振り返り、次へ活かそうとする。	友だちと一緒に活動を振り返る中で、他者の思いや考えに触れ、想像を豊かに膨らませる。	話し合いの中で出る様々な意見や考えを受け止め、自分の思いも伝えながらよりよい考えを生み出そうとする。	新たな集団になっても、自分の考えを伝えたり、周りの人々の考えを聞いたりする。	自分の行動や考え方の理由に対して、主体的にそのときの状況や気持ちを言葉や絵などを用いて表現できる。	これまでの経験を用いて自分の思いを伝えたり、他者の考えを受け入れたりしながら、体験したことを次の活動に生かそうとする。
子どもの学びや生活を豊かにする環境設定	・子どもたちが安心して生活できる環境空間 ・ワクワクしながら学びに向かえる環境構成 ・小勢一多勢にならない学級風土づくり →園による人数差、集団で過ごす経験差などへの配慮	・興味・関心の広がりや深まりが起る教室環境 ・思っていることを安心して発言 / 表現できる環境	・先の見通しが持てるようにボードなどを活用して情報を可視化し、子どもたちが協力してよりよい考えが生まれるようにする。	・子どもの興味や発達段階にあった環境を設定し、夢中になっている様子を撮影して掲示したり、思いの言語化をしたりするなど、子どもが自分の姿を振り返ることができるようにする。	・子ども同士が集まって対話ができる時間を生活の中に設定し、他者の思いに触れる機会を持つ。 ・他者との協働ができるという集団の特性を生かした環境構成につとめる。	・子どもたちの考えたことややってみたいことのトライ&エラーができる環境づくりをする。 ・子どもたちの声を大切に、日々の実践の中で「遊び心」を取り入れられる余白 / 余裕を持ち続ける。
キーワード						

大切にしたい大人の姿勢

Period	4・5	6・7	8・9	10・11	12・1	2・3		
関連する教科	学活：1年生になって 国語：おおきくなった	国語：としょかんはどこなところ 図工：カラフルいろみず	国語：えにつきをかこう 図工：すなやつちとなかよし	国語：ことばあそびうたをつくらう	国語：はっけんしたよ 音楽：おとさがし / さがしてみよう 図工：うつつたかたちから (みつけたあそびあそび)	国語：おほなしからうまれたよ 図工：いろいろなかたちのかみから (あそびたかたをしようかしよう)		
生活科	はるとななかよし		なつとななかよし		あきとななかよし / いきものだいすき		ふゆとななかよし / もうすぐ2年生	
単元構成	げんきにそでわたしのはな はるのいきもの	なつのいきもの かわあそび・みずあそび	あきのいきもの あきみつけ	あきみつけ	あきみつけ	ふゆのいきもの ふゆみつけ	ふゆみつけ	もうすぐ2年生
関連する内容	アサガオの栽培/観察 学校・畑・林	学校プール 校庭・高津川	アサガオの観察/種採り 校庭、カントリーパーク、うしのしっぽ	どんぐり、落ち葉、虫	風車、風船 地域のお寺、校庭、雪	雪、氷、寒さ	学校・保育園	
子どもの姿	新しい構成メンバーでの関係づくり 心理的安心感をもっているか	新たな環境(学校)での自分の存在、自己表現 興味関心へのアンテナ	興味関心を抱いたことに対してトライ&エラー集団で協働していくことへの喜び			自分の課題や興味関心を広げていく自己の思いに他者を巻き込んで解決していく 授業を通じて様々な ヒトコトモノ を面白がる		
キーワード	何よりも信頼関係・愛情・教員の余白(余裕)・選択肢を複数持つ サークルタイム(机、椅子の配置、マットの設置など)：協働 / 対話がしやすい環境設定 教員の言葉かけ 安心して遊び込める教具や道具 わくわくはてな 指示しすぎない 教えずきない 子どもの想いに傾聴する 子どもの想いの納得感(すぐにダメではない、理由がある)		何よりも信頼関係・愛情・教員の余白(余裕)・選択肢を複数持つ 子どもたち自らの環境設定 自発的に自分たちから取り組む環境設定/授業構成 教員の言葉かけの質 コンピュータベースで捉える わくわくはてな やってまよ!			何よりも信頼関係・愛情・教員の余白(余裕)・選択肢を複数持つ 多様性を受け止める言葉かけや雰囲気、姿勢 お互いの信頼関係 わくわくはてな 面白そう! まぜる・まざる		

保育園	遊び活動	・生き物探し トカゲ・カナヘビ・幼虫・ミミズ・おたまじゃくし・はんみょう・カニ・くわがた・かぶとむし・さかな・バッタ・こおろぎ・キリギリス・鈴虫	・山菜つみ しいたけ・きのこ	・果実つみ なつめ・ブルーベリー・いちじく・柿・栗・くるみ・銀杏・むかご・がまずみ・ゆず・みかん・冬いちご	・たき火	・雪遊び・そり遊び	・生き物探し ひきがえる・かえるの卵
	子どもの姿	新しい構成メンバーでの関係作り 自分をだす、表現する	自分の立ち位置を確認していく 言葉で自分の気持ちや感情を伝えられる	仲間意識の芽生え 結束力、助け合う	仲間意識の深まり ルールのある遊びに関心が強まる	仲間意識の深まり 我慢する力、辛いこと、嫌な事にも挑戦しようと思う力 人を受け入れる 人を思いやる力・認め合う力	
	キーワード	年長児が抜けて、新たな関係性の中で生まれる姿		お泊り保育という同じ境遇(非日常)を体験することにより、仲間と協力するということがより強く意識される		運動会等をきっかけのリレーなどルールのある遊びがブームになる 少しずつ自分たちでその都度ルールを作って遊び始める	

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
会議体 (各地区)	第1回会議		第2回会議		架け橋全体研修		第3回会議		第4回会議			
内容	・子どもの実態共有(1年生の様子見学含む) ・指標による大人の自覚合わせ ・顔合わせ(特に新任同士) ・年間計画の共有、実践の内容検討		・これまでの日々や実践について保小それぞれから共有 ・共同実践の指導案作成				・これまでの日々や実践について保小それぞれから共有 ・共同実践の指導案作成		・ビジョンについての検証 ・次年度に向けての振り返り			
共同実践		実践①安心安全な環境づくり テーマ「春」 例)ピクニック ※午後の振り返りも含む		実践②好奇心あふれる環境づくり テーマ「夏」 例)川遊び(水遊び) ※午後の振り返りも含む			実践③好奇心あふれる環境づくり テーマ「秋」 例)秋の森山遊び ※午後の振り返りも含む			実践④1年生の主体性と5歳児の関わり テーマ「冬」 例)冬見つけ ※午後の振り返りも含む		
1年生(ねらう姿)												
5歳児(ねらう姿)												
おとなの姿勢	※子どもの情報共有や、大人の言葉かけ・環境設定についての情報共有(通年で随時) ※学習公開日や研究事業、公開保育への参観(通年) ※保育士/教員の関わりを見る/知る(通年) ・校種を超えた子どもの姿を見る/知る(通年)											

架け橋スケジュール